

# 「神學博士 マリオ・マレガ」 メモ覚え書き

萩原 義雄

MM029 訓讀繪入『觀音經和談抄』の解説挟み込みの紙

## 演題

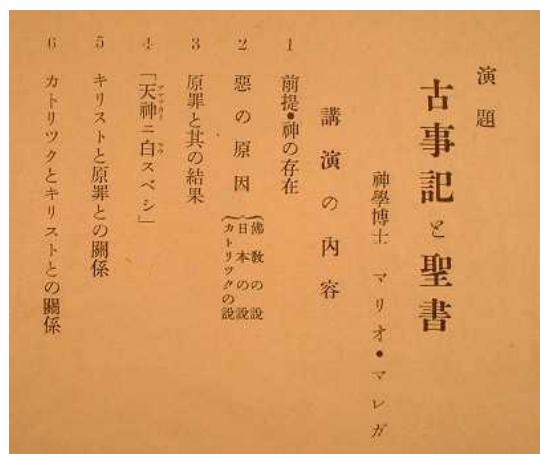
### 古事記と聖書

神學博士 マリオ・マレガ

#### 講演の内容

- 1 前提・神の存在
- 2 悪の原因 

|   |         |
|---|---------|
| ┌ | 佛教の説    |
|   | 日本の説    |
|   | カトリックの説 |
- 3 原罪と其の結果
- 4 「天神ニ白スベシ」
- 5 キリストと原罪との關係
- 6 カトリックとキリストとの關係



此の一枚の紙片から、この講演の年日時・場所などは、精確に把握することはできていないが、マレガ師自身、日本国滞在中の四十五年間のなかでこうした講演を実施していたことが明らかとなった。そのうえで、日本の神話譚『古事記』と『聖書』（旧約聖書）のなかの神話譚を常に対峙させて現代の人々にその精髓を語り続けようとしていたことをここに類推し、その検証を試みたものである。

「[東方学会](#)」での口頭発表

早速、「東方学会」に問合せ、事務局の河口英雄氏から下記のご返答をいただいた。

「Marega, Don Mario」氏の国際東方学者会議で第7回(1962)、8回(1963)、13回(1968)、16回(1971)の計4回という発表については、はじめて確認した情報です。このことは、以外にこちらの関係者にあっても周知されてない情報です。

いずれも Transactions of the International Conference of Orientalists in Japan にサマリーが収載されております。

タイトルは下記のとおりです。

第7回：Pre-Xavevrian Christians in Japan

第8回：The Kirishitan yashiki

第13回：The oldest buddhist ceremonies in Japan: The shuni'e ceremonies

第16回：The Nakatomi harae and the remben at the Todai-ji temple

サマリーを読んでいないのでわかりませんが第7回の発表で羽田先生の論文を引用したのかもしれませんが、すべて在庫がありますので確認できると思います、とりあえずご連絡まで。